

金山町 議会だより

第190号

平成27年8月11日

発行 金山町議会

編集 議会だより編集特別委員会

〒968-0011

福島県大沼郡金山町大字川口字谷地393

☎ 0241-54-5341



多くの町民が参加した 金山・只見町民号（新津駅で撮影 後ろに見えるのはお座敷列車）

〔6月定例会のあらまし 会期／6月12日～16日〕

（ページ）

6月定例会 平成27年度補正予算を可決……………2～3

臨時議会、人事、意見書、議会報告会……………3～6

一般質問に7人登壇……………7～13

6月定例会 保養センター改築 増額予算を凍結



建物の取り壊しが済んだ保養センター改築工事予定地

6月定例会は、6月12日から16日にかけて開催され、一般会計補正予算など9議案と、報告4件、議員提出議案3件が提案され、原案の通り可決されました。一般会計補正予算に含まれる「保養センター改築工事費の増額」は、内容を精査したいと町長から発言があり凍結となりました。一般質問には、7人が登壇し町政をただしました。

議案審議

保養C改築 増額予算を凍結

町長 保養センター改築について、労務単価や建築資材等のアップに伴い2950万円の増額補正を今回提案しましたが、完成するまでの全体計画・予算を提示し議員のご理解を得た上で予算執行をさせていただきたい。

問 予算凍結ということですか。

答 町長 そうです。

問 凍結解除のためには、どのような手法で議会の承認を得るのですか。

答 町長 全体計画・予算(平成27・28年度と29年度の事業)、28年度にオープンするまでの経費を示していませんでした。それから、源泉の権利関係等、様々なこと、まだまだ調査したいことがありますので、そのことを踏まえて全体像をあらわして、全員協議会を招集しながら説明をさせていただきたい。

国保税は他より 高いか低い

問 国民健康保険税は、他町村と比較してどの程度になっているか。

答 住民課長 福島県内61保険者の中で上から42番目です。今年度は、実質26年度と税率は据え置きですが、1世帯当たり約1万2千円安くなっています(固定資産の評価減少や所得の減少のため)。そして今回から平成30年度からの国保の広域化に向けた国の方針により、税金の資産割と均等割の見直しをしました。

搾油器・糖度計の 購入に285万円

問 エゴマも赤カボチャもそれぞれ団体が組織されていると思うが、100%の助成か。

答 産業課長 搾油器が195万円。糖度計2台で180万円の予算で

女性ターゲットの ツアーに百万円

問 ツアーの身身は。

答 産業課長 「健康と美容」をテーマにした女性ターゲットの炭酸温泉や炭酸水など自然をめぐるモニターツアーを計画しました。

問 実施時期はいつか。

答 産業課長 9月以降を考えています。首都圏を中心にした若い女性に来ていただき金山町のリーダーになつてもらうようなイベントにしたいと考えています。

す。町で購入し、それぞれの協議会に管理委託します。

問 搾油器は誰でも利用できるのか。糖度計は、生産者がいつでも使用できるのか。

答 産業課長 搾油器の利用については、従来通りエゴマの会に取り扱いをしてもらいます。糖度計については、赤カボチャの検査体制の整備のために購入します。

マイマイガ 対策は

問 寒冷紗はどうするの。
答 産業課長 立木に寒冷紗を巻き付け集まったマイマイガを退治します。
問 投光機はどうするの。
答 住民課長 6台2週間借上げます。投光機に集まるマイマイガを駆除

します。設置場所等については各区長と協議します。

診療所の 歯科診療体制は

問 今の歯科診療体制をどのように考えているのか。今後はどうするのか。
答 町長 今現在、1日1人、あるいは1、数人

というような患者数で推移しています。先月になりますが、歯科医師と話をする機会がありました。町民の大多数の方が町外の歯科医療機関を受診している状況を伝え、出来る限り患者の要望を取り入れた治療を心がけていただくよう話をしました。もう一回、9月ごろ、再度お伺いして、その後の改善が見られるかどうか、その辺もよく把握してみたいと思っています。その結果、最終的にはどういう方向性を持っていくかは、今現在では申し上げられませんが、これからも改善されよう話し合いを続けていきたいと考えています。

■保養センター改築工事全体計画

1、建物の概要

- ①建物規模：鉄骨2階建て（1階560㎡ 2階70㎡）
- ②入浴施設：男女別の従来温泉と炭酸温泉（2種類の温泉が楽しめる）
- ③大広間：94㎡（食堂と休憩施設を兼ねる）
- ④2階ロフト：休憩施設

2、予算

- ①25年度：土地取得1,145万円
- ②26年度：委託料（詳細設計等）1,956万円
工事請負費（建物解体費）3,670万円
- ③27年度（当初）予算：委託料（工事管理監督）1,100万円
工事請負費（建物建築）2億6,900万円
- ④27年度（6月補正）予算：
工事請負費（単価アップ分）2,950万円
- ⑤28年度予算：
工事請負費（外構・駐車場・浄化槽等）6,890万円
備品購入費（厨房設備等）1,490万円
- ⑥合計：4億6,101万円

3、温泉等の購入（7月6日開催の第5回臨時会で800万円の購入予算可決）



800万円で購入する源泉等

■請願と陳情の採択

◆福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書提出の請願

日本労働組合総連合会福島県連合会

両沼地区連合会議長 中丸逸二

◆「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による就学支援事業の継続を求める意見書の提出を求める陳情

福島県教職員組合

中央執行委員長

角田政志

7月6日 第5回臨時会

第5回臨時会では、玉梨・八町温泉開発組合から源泉等を購入する一般会計補正予算と道路維持作業車を取得する2つの議案が提案され「賛成多数」で原案通り可決されました。

玉梨源泉等

800万円で購入

問 何を購入する。

答 町長 野尻川左岸、弁天橋下流の源泉（大黒湯温泉・箱湯温泉）。玉梨八町温泉の既設ポンプ、予備ポンプ等。玉梨温泉共同浴場。

問 各旅館からの分湯料（108万円）はどうなる。

答 町長 町の収入になります。

■反対討論

五ノ井義一議員

温泉の確保無しに、保養C改築か。順序が逆。進め方がおかしい。

■賛成討論

高橋信彦議員

2種類の源泉がある。利用価値は非常に高い。



保養センター改築工事 採決の瞬間

保養センター改築にゴーサイン

多額の工事費に不安も

第6回臨時会では、教育長の任命に関する同意、ラジオ難聴解消事業（惣山の東金山局・役場庁舎内関連工事）の契約締結、保養センター改築工事費の減額を含む一般会計補正予算の3議案が提案され、原案通り可決されました。一般会計補正予算は、賛成5人・反対4人の賛否が拮抗した可決でした。

7月27日 第6回臨時会

保養センター改築の最終判断を

町長 今回提案した保養センター改築工事の減額310万円は、経費削減を踏するため工事内容（外壁・浴場湯口）を見直しました。今回の臨時議会では6月定例会で執行凍結扱いになっている、2950万円の増額補正についても併せて審議をお願いしたい。今回の310万円の減額補正が可決されれば、凍結解除を認められたと判断します。逆に可決されなかった場合は凍結解除が認められなかったと判断します。

このまま、凍結が解除されなければ、今年度中の予定工事が完了することは極めて困難なことから現計画は白紙撤回させていただきます。町としては、新保養センターの整備は町民の憩いの場として、また交流人口を拡大する上でも無くてはならない施設です。十分な審議をお願いします。

■反対討論 五ノ井義一議員

5億円近くの事業費になる。高額すぎる。その内1億数千万円の一般財源だ。余裕のある金山町の財政状況ではない。これから工事を始めて、期間内に工事が完成するか疑問。

■賛成討論 高橋信彦議員

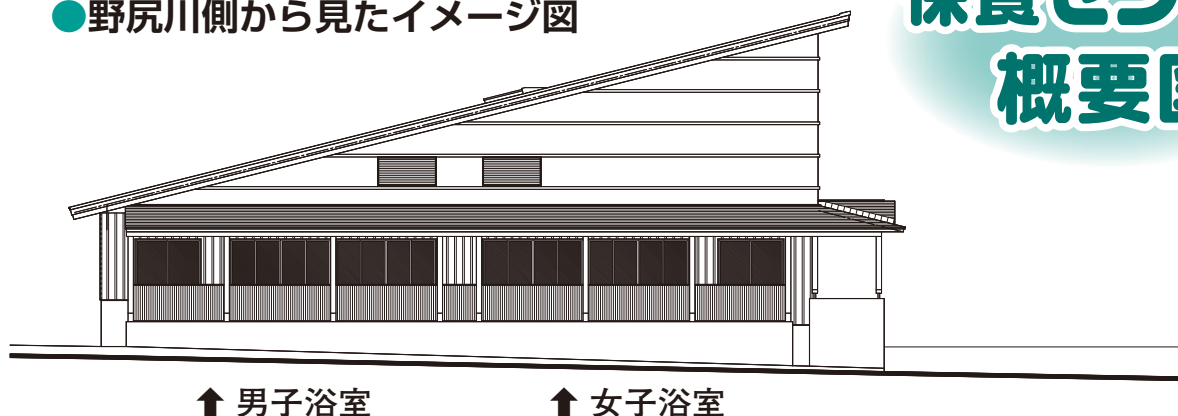
高額予算だが、全国的な資材高騰が原因。豪華な設備・資材ではない。長期間使える町の重要施設になる。交流人口のためにも必要。やむを得ない。

■人事

▼教育長

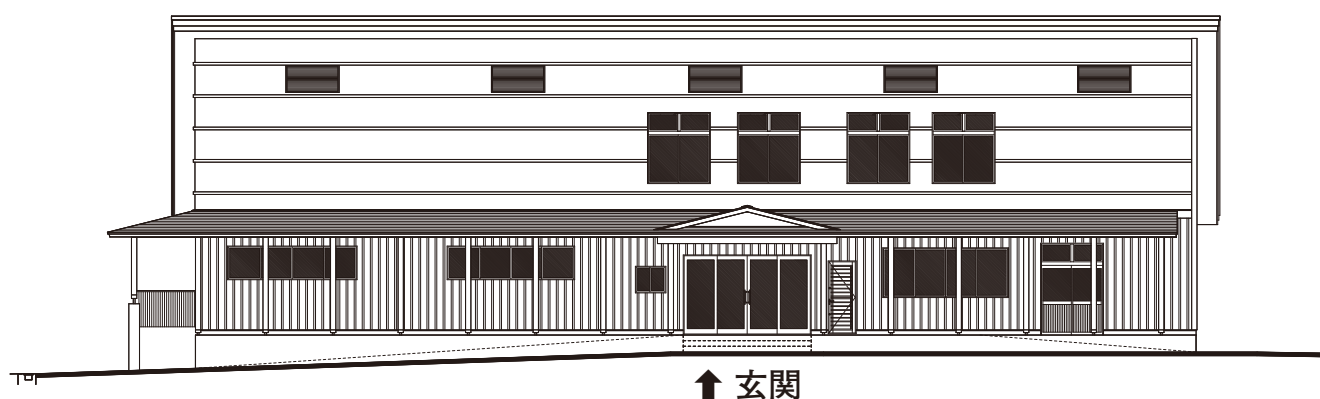
空席になっていた、教育長に滝沢敬樹氏（田沢・63歳）を任命することに同意しました。任期は8月1日から3年間です。

●野尻川側から見たイメージ図

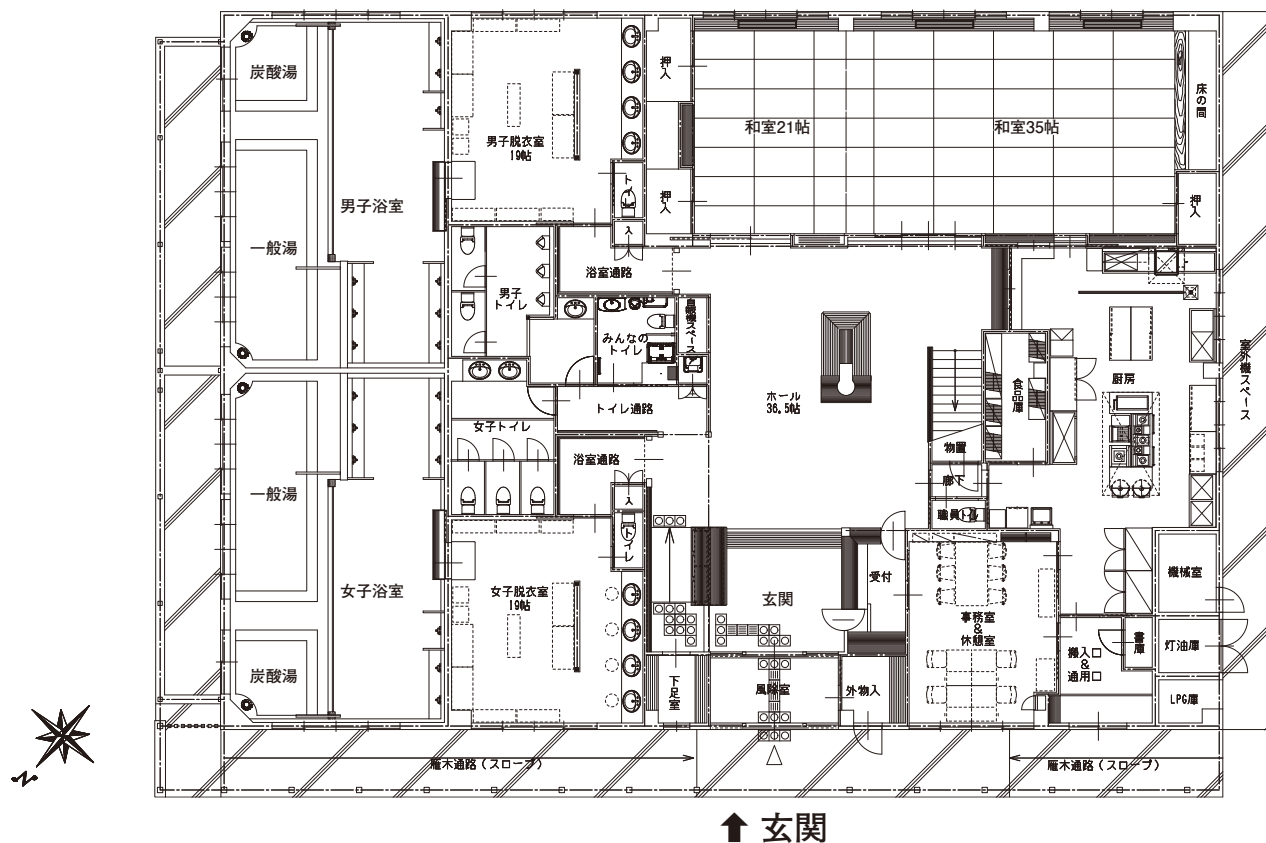


保養センター 概要図

●川下側から見たイメージ図



● 1 階平面図



意見書の提出

6月定例会に議員提出議案として提案した意見書については「安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書」は、賛成多数（賛成5・反対3・退席1）で可決し、それ以外は、全会一致で可決し各意見書を関係機関に提出しました。各意見書の概要をお知らせします。

◇福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書

最低賃金を持つセーフティネット機能を維持するためにも最低賃金額の引き上げと早期の発効が求められる。併せて、福島県の復興を加速させ促進するうえでも、最低賃金の引き上げにより、一定水準の賃金が確保されることは、県内における労働力の確保や若年層を中心とした労働人口の県外流出に歯止めをかけるうえで、非常に重要な位置づけとなる。

提出先 内閣総理大臣、厚生労働大臣、福島労働局長

◇「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による 就学支援事業の継続を求める意見書

東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学を保障するため、引き続き、平成28年度以降も全額国費で支援する「被災児童生徒就学支援等事業交付金」を継続すること。

提出先 復興大臣、文部科学大臣、総務大臣、財務大臣

◇「安全保障関連法案」の慎重審議を求める意見書

戦争を放棄し、戦力の不保持を定めた憲法に反することは明らかです。政府は長年にわたって「憲法9条下において許容されている自衛権の行使は、わが国を防衛するため必要最小限度の範囲にとどまるべき」として、集団的自衛権の行使や他国軍の武力行使と一体化を憲法違反としてきた。今回の2法案は、平和憲法下のわが国の基本政策を転換し、戦争を放棄した平和国家日本のあり方を根本から変えるものであり、到底認めることはできない。

6月4日の衆議院憲法審査会で、各党の推薦で参考人招致された憲法学者3人も、集団的自衛権を行使可能にする新たな安全保障関連法案について、いずれも「憲法違反」との見解を示した。

2法案の慎重審議を強く求める。

提出先 内閣総理大臣、内閣官房長官、外務大臣、防衛大臣、衆議院議長、参議院議長

議会報告会

金山町議会では、定例議会終了後に議会報告会を開催しています。今回は、3月定例会後に開催した玉梨地区、中川地区での参加者の声を紹介します。

保養センター についての場に

佐藤壮一さん（玉梨）

玉梨・八町地区で22名の方が参加しました。保養センター改築については、冬季間の雪対策を

つかりなされ、町民が利用しやすく「いいこの場」となるよう話し合うことができました。活発な質問にも丁寧に説明がなされ、議会の日々の活動の積み重ねが見えて有意義な報告会になりました。

地域の要望を 実現して欲しい

星 佐益さん（中川）

議会報告会に参加しました。議会が地区住民の日頃考えている事や、要望を聞き、行政につなげる事は非常に重要です。4月から新年度に入り新年度予算に基づき行政が動き出します。教育委員会制度が改正になり、3月議会では、教育長の選任が不同意になり教育長



▶4月21日開催の
玉梨地区報告会
玉梨・八町地区対象



▶4月23日開催の
中川地区報告会
大志・板下・宮崎・
上田地区対象

不在になっています。特に重要な転換点ですから、新年度の教育行政が滞ることの無いよう早く選任すべきだと思います。報告会では、保養センターの建設問題、新しい町営住宅の使い勝手の問題、職員の通勤手当の減額に対する議員報酬の兼ね合いなど、多くの意見要望が出されました。議会として、地域の要望に対する実現に努力して欲しいと思います。



湛水した只見川と只見線を走る
ラッピング列車



青柳精一議員の 一般質問

『なぜ、再稼働にゴーサイン出した』

町に発電を止める権利ない

問 町長は、さきの全員協議会で、災害復旧工事もおおむね完成したので、再稼働にゴーサインを出したいとの話を出された。一体何を根拠にゴーサインを出されたのか、まず伺いたい。確かに、道路、国道・町道などの橋はかけかえになりました。しかし、JRの鉄橋は落下し、撤去はされましたが、いつまでに

復旧されるのか、いまだにその見当もつかない状況です。さらに、浸水家屋や農地についても、将来は嵩上げするという話はありませんが、いつまでに、どこをどのように嵩上げするのかさっぱりわかりません。町が一番先にやらなければならぬのは、これらをいつまでにやるのか、具体的計画書を出させるべきだと

思います。考えを伺いたい。さらに、堆砂土砂の浚渫についての対策はどうか伺いたい。

答 町長 地域住民の安全・安心の確保、町として最優先で取り組むべき課題であり、私も努力を惜しまない覚悟で取り組んでいます。そこで、ご質問の只見川各発電所の再稼働の件であります

が、町には町内の発電所の発電をとめる権利はない。さらに、堆砂土砂の浚渫について、認めたとかがゴーサインを出したとかいうことはありません。町は、各発電事業者から提案された只見川の安全対策について、その内容を検討して解したもので、今後その内容や履行について継続的に協議していくということを確認したということです。議員が不安に

思っている浸水家屋や農地の嵩上げについては、発電事業者に求めるものではないと考えています。堆砂の除去については、各発電事業者から実現可能な範囲でできる最大の提案をいただいたので、その履行について毎年確認をし、その内容を確実に実施させる覚悟でいます。

『農林業対策について』

それぞれ対応している

問 米づくり農家にとって、政府の米価引き下げなどによって、農家経営が大変な状況になっている。どのような援助対策を考えているのか。また、米以外の農作物についてはどのような対策があるのか。地元産材などの利用対策をどのように考えているのか。さらに、林道整備についてど

のような対策があるのか伺いたい。

答 町長 昨年度は大幅な米価下落となったため、米販売農家（113人）に対し、収入減少影響緩和対策（反当たり5000円交付）を実施しました。農業者の高齢化対策として集落営農を進めています。米以外の農作物の対策は、地域特

産農産物である赤カボチャは、パイプハウスの購入費補助等、エゴマは、作付拡大に向けた奨励金の支給等を行います。地元産の木材活用については、価格面でかなり厳しいものがあります。利益を還元できる方法等について引き続き検討をします。林道整備は、路面整備と広域的な林道の維持

管理は町が行ってきまし。その他の林道は、集落の協力で維持されてきた。今まで集落で行ってきたことを全て町がやるということとは、なかなか難しいものがあると思います。今後は各行政区の要望に答え、ある程度までは町が行う体制も必要かと考えています。



黒川廣志議員の 一般質問

『電力事業者の安全対策では不十分！ なぜ、本名・上田発電所の運転再開なのか』

発電事業者の回答を一定の評価

問 町長は5月末「電力事業者の提示した安全対策は評価できるので了承し、発電再開を承知する」と明言し、東北電力（株）は6月から本名・上田発電所の運転を再開した。

問① なぜ両発電所の運転再開なのか

答 町長 各電力事業者は、今、発電再開に向けて全力で取り組んでいま

昨年視察した美和ダム（長野県）の導水路



す。この時期だからこそ、町が一番に要望している住民の安全・安心対策について真摯に向き合うことができるかと判断し、事業者の回答に対して町も誠意を持って対応したものです。各電力事業者が取り組む対策は、平成23年の豪雨と同等の洪水が発生した場合に住民の安全・安心を守るための対策です。まだまだ不十分という意見もあるかと思いますが、現時点でどの程度まで求めるのかは判断によります。今回打ち出された対策で終わりということでない意味も含め、一定の評価としました。今後は、金山町洪水対策情報連絡協議会を中心に、その履行について報告を求め、要望を伝えていきます。

問② 水利権更新に伴う町の意見4項目（堆砂率10%以内へ、ダム操作規程改定、電力社員の常

駐、ダム改造の進捗は、また、更新されたのか。

答 町長 昨年12月の答弁と同様で福島県からはその後の動きについて進捗状況の報告は得ていません。また、東北電力に対して要望事項の申し入れは行っていない。

問 社員の常駐は、地元住民として実現してもらいたい。只見町にある電源開発の事業所と東北電力を比較すればわかることではないのか。

答 町長 もっともだと思います。そのことについて、果たして受け入れられるかどうかはわかりませんが、協議はしてみたいと思います。

問③ 安全対策強化に向け、金山町洪水対策情報連絡協議会に国の機関を。

答 町長 国の参加については今年度の協議会の中で協議する予定です。

問④ 協定締結を。

答 町長 必要があるな

ら議会の意向を伺うという考えに変わりはありません。具体的な内容を示さない協定や前向きな姿勢を示すだけの協定では意味がないと考えています。相手の了解がなければ協定を結ぶことはできません。私は、協定の締結より、今回の安全対策の取り組みを確実に実施してもらおうことのほうが、意味のあることと思っています。

問⑤ ダム災害軽減を目的に全国で①ダムのゲートを下げる（九州電力山須賀、西郷ダム）②ダムの土砂堆積を防ぐ排砂用パイパストンネル（天竜川系美和ダム、小渋ダム）③ダム本体の3ヶ所に穴をあけ導水管で洪水を調整する（鹿児島県川内川鶴田ダム）等の工事が行われている。流域住民の安全安心を守るため河川工学の専門家、流域住民、関係機関（国、県、

町、電力事業者）によるダム改造や堆砂排除計画等を検討する恒常的な委員会等の設置が必要だ。

答 町長 建設的なご意見だと思います。只見川及び阿賀川流域全体が、まだそのような考えに至っていないのが現状と捉えています。私も勉強不足のところがありませんから、これから勉強を重ね、地域住民の安全安心を守るため、機会をとらえて提案していきたいと思っています。

問⑥ 住民の立場に立った安全な只見川流域づくりに全力を挙げて欲しい。

答 町長 よく肝に銘じておきたいと思っています。



運転を再開した本名ダム



— 昨年の敬老会の様子



奥高伸議員の 一般質問

『敬老会の開催のあり方を問う』

幸せと生きがいを感じる敬老の日にしたい

問 町では毎年9月の「敬老の日」を中心に敬老会を実施されている。敬老会は長年にわたり町、社会に貢献されてこられた高齢者の方々に感謝の意を表すと共に会食や余興などで楽しい一日を過ごしていただく催しとして意義のある事業であると思う。しかし、毎年出席者は該当者の半数

に満たない。出席したくても事情により出席できない方も多いと思う。これらの方々にも敬老・敬意の配慮が必要だと思うが考えは。

答 町長 出席される方も出席できない方も、長年のご苦労とご活躍に対し、皆等しく感謝と敬意を表すところです。出席できなかった方に対し

て、今までのご苦労に感謝すると共に、今後の益々のご健勝をご祈念申し上げ、私のメッセージをお届けしたいと考えています。また、敬老会についても、度々ご指摘をいただいていた招待者への配慮について、ゴザの上に直接座るのではなく、カーペット等を敷くことを検討していま

す。出席者も出席できない方も、幸せと生きがいを感じていただける敬老会、敬老の日にしていきたいと思っています。

問 公平に、又等しく高齢者に敬意の念を示すのが行政として当たり前では。

答 町長 全くそのとおりだと思います。今すぐにはいきませんが、こ

『町道・林道の管理・整備を問う』

財政状況を考え対策を進める

問 田沢地区から滝発電所、小見地区への道路は町道でありながら長年、路面の崩落により通行不能の状態だ。地元からは復旧の要望が出されていると聞くが未だに復旧される兆しはない。道路は経済活動、日常生活の基盤、重要なインフラであり又防災上も整備は欠かせない。町が管理しているその他の町道・林道に

ついても通行不能箇所等はないのか。その現況と管理を問う。

答 町長 町が管理している町道・林道で、災害により通行不能となっている箇所は、町道では小見線だけです。林道は、現在災害復旧工事を行っている田代線と今春落橋した本名・室谷線が通行不能となっています。ただし、集落から整備要

望のない道路、つまり使われないために通行不能となっている町道・林道は多数存在します。町の考え方は、財政状況を勘案し必要な整備を行う方針です。なお、小見線は、今年度、復旧工事を行う予定です。この路線は、滝発電所の滝橋が落橋したため工事ができないでいた経過があります。被災箇所の奥には農地はな

く、主に山菜とりのための道路として使用されています。

問 町民が日常的に利用している町道で、救急車・消防車・除雪車等の入れない道路はありますか。

答 町長 入れない箇所は存在します。また赤道や私道については、救急車が入れない箇所は、かなりあります。



高品質の赤カボチャを生産
(パイプハウス購入補助事業)

高橋信彦議員の 一般質問



『産業振興策について』

この地域でしか採れないものに特化し進める

問 町長はエゴマと赤カボチャを町の特産品にしようとして生産拡大を図っているが。

問① 過去数年の作付面積や生産量に対し、今年度はどの程度の増加を見込んでいるのか。

答 町長 奥会津金山赤カボチャ生産者協議会は会員が昨年より10名増えたこと、また、奥会津かねやまエゴマの会は作付拡大に向けた奨励金の支

援が始まることから昨年度より生産量が増加するものと見込んでいます。

問 つくるだけでなく、いかに販売、最終的に消費者にこのものが届いて、お金になって、それが還元されるまでが「ワンサイクル」と考えています。そしてまた、「リピーター」が増えることによってその作業そのものがどんどん成熟していくと考えますので、少な

くとも「リピーター」ができるまでは本場に官民一体となってエゴマ・赤カボチャ、ほかにあります。力を入れていた

答 町長 この町の特産品はエゴマ油と赤カボチャ、あるいはアザキ大根とか、とにかくこの地域でしかとれないもの、あるいはこの地域の品質が最も有望なもの、それに特化したいと考えており

問② ブランド化に向けて、新たな検査体制の構築は出来たのか。

答 町長 赤カボチャは今年度より品質・規格の統一を図り、ブランド力を強化するため新たに検査員を配置し、赤カボチャの形状・色・へその大きさにより規格を決めています。また、今議会の補正予算に計上した糖度計により糖度を測定

し、品質の統一を図っていきます。具体的なことについては、今後、生産者協議会、金山町農業改良普及所、町で検討しながら進めていきます。エゴマについては、エゴマ油は他地区の商品と比較して高品質な商品であると認識しています。今後

も品質の高い製品の供給をお願いしたいと考えています。

『沼沢湖の水質について』

出来る範囲で取り組む

問 沼沢湖のヒメマスは放射能の影響により、未だに漁の解禁には至っていない。

問① 東京電力との交渉は、どの様になっているか。

答 町長 資源回復について何らかの措置を講ずるよう4回にわたり要請をしましたが、現在のところ具体的な回答はい

だいていません。今後とも町、沼沢漁協が一体となって資源回復に向けた措置を考えながら、東京電力に対し強く要請していきます。

問② 東北電力との協定では、沼沢湖に只見川の水を揚げることにによる水質悪化を防ぐため、どのような対策がとられている

のか。

答 町長 毎月、第二沼沢発電所立地協定に基づき、東北電力より水質について報告を受けています。その中で、只見川の濁度の基準値を超した場合には只見川からの揚水をしない協定になってお

問③ 只見川の河川改修に伴い、長期に渡る汚濁が予想され、揚水にも悪影響が出ると思われる。町独自の検査予定はあるのか。

答 町長 できる範囲のことです。やっていかなければと思っています。あきれいな沼沢湖、何とかして守っていかなくては、思っています。

『ダム災害について』

安全・安心対策を進めていく

青柳靖美議員の 一般質問



本格運転をする上田ダム

問 平成23年7月の豪雨によるダム災害から、満4年。河川整備計画が策定されても実施計画は示されない。二度とダム災害を起こさせない対策は担保されていない。町としての姿勢・覚悟が問われる。

問① 只見川流域河川整備計画の説明会は、実施計画・実施順序ができたか。

答 町長 集落ごとに事業の進捗に合わせ県主催により行う計画と聞いています。大まかな実施計画、実施順序は聞いていますが、詳細な計画はまだです。施工の順番は、まず越川の大川地区の河川側方掘削から始め、西谷と越川地区の住宅対策に取りかかる予定だと聞いています。予備測量は既に始まっていますが、集落説明会は予備測量が終わってからとなり、工事着手時期については住民との合意形成、事業用地の確保など条件が整ったところから始めると聞いています。

問② 町長は、各電力会社が示した安全対策について何を根拠に評価できると判断したのか。

答 町長 安全・安心対策については、町からの要望はかなり取り入れられています。現時点で各電力事業者ができる最大の取り組みを評価し一定

の評価としました。今後の評価としました。今後の取り組み内容について協議、議論し、前向きに進むことが最善の方法であると考えています。

問③ 東北電力(株)は6月1日からの再稼働を発表した。電源開発はいつからか。町長は安全協定の締結や、住民の安全・安心の担保のないまま再稼働に同意したのか。

答 町長 再稼働の権限は町にはありません、国による発電所の検査が終了した時点で発電が行われると思います。協定については、3月の説明会で示された安全対策が担保となり、それ以上の協定の必要はないと思っています。

問④ 関連団体(洪水対策情報連絡協議会・区長協議会・被災者の会・議会など)の理解を求める意見聴取をしたか。

答 町長 発電を認める権限は町にはありませんので、発電再開に対する

意見聴取は行っています。事業者の安全対策については、3月に提案された内容で決まったものではありません。今後意見も申し上げ、協議を重ねて、より良い安全対策を進めていく考えです。被災者の実情、思いは耐えがたいものがあると思いますが、湛水しないことによる弊害の声が区長を始め町内の多くの方々からも寄せられています。そちらの声も無視するわけにはいきませんので、ご理解願います。

問⑤ 水利権の期限(H24.3.31)切れ問題の解決や、県に要望した堆砂処理の総合管理計画がなければ安全・安心は担保されないと思うがどうか。

答 町長 水利権については、更新許可の手続きを行っていただければ許可の判断があるまで失効することのない権利です。期限が切れていても法的には

問題は生じません。今後は、福島県と連絡を取りながら、町からの要望事項について進展を図るよう働きかけていきます。土砂の総合管理計画については、流域市町村と電力事業者が一体となつて初めて実現するものと思っています。今後必要性は強く訴えていきますが、当面は安全対策を着実に進めることのほうが大事と考えています。

問⑥ 浸水マップ・ハザードマップは。開示・説明・周知は。

答 町長 豪雨災害で冠水した位置を地図に示し、現在実施している地区懇談会の資料として配付しています。ハザードマップは、県のホームページで金山町の土砂災害・崖地・地すべり等の土砂災害警戒区域を指定して公表しています。地区懇談会の中でも提示しています。



聴衆を魅了した「阿波木偶箱回し」

長谷川菊夫議員の 一般質問



『開発センターのこけら落しに疑問 公私混同では』

真摯に受け止め対応する

問 開発センターのこけら落しに疑問を持つ。

徳島県の人形木偶箱回しは、大変素晴らしい民俗芸能でした。これには文句はありません。問題は、その後に行われた碧山荘での懇親会や宿泊です。公私混同ではないですか。

答 町長 こけら落しには多くの町民の皆さんに足をお運びいただき、

盛大に開催することができました。日本舞踊と阿波木偶箱回しという伝統的な日本文化の演目により改築お披露目ができ

たことは、中央公民館の機能を兼ねる開発センターのこけら落しに大変ふさわしく、ごらんだいた町民の皆さんにとりまして非常に有意義な時間であったと思っています。人形浄瑠璃を披露していただいた阿波木偶箱回し保存会の皆さ

問 碧山荘の経営は誰がやっていますか。

答 NPO法人奥会津金

んには、このこけら落しのために遠く四国徳島からお越しいただきまし

た。そのご苦労とすばらしい演目を披露していただいたことに對し、町民を代表して感謝の気持ちをあらわすため、ささやかではありましたが、当日の夜に私主催の歓迎会を碧山荘において開催したところでます。

問 町にも、旅館や民宿があるのだから、それなりの経費をかけ労をねぎらうのが当たり前ではないか。

答 町長 経費を出来るだけかけないようにと苦

山あそびのがっこう（理事長 渡部勇一）が経営しています。

問 こけら落しの経費はいくらかかりましたか。

答 教育次長 四国からの旅費約23万円、報償費が1人10万円で30万円。

肉の策で行いました。

問 NPO法人は、町長がやっていると同じように町民は見えています。それが公私混同と疑念を持たれる。NPO法人と町長の公私の縦分けをして下さい。

答 町長 町長に就任してからNPO法人のほうを、もちろんやっているようなわけにもいきませんので、皆さんからの意見を真摯に受け止め対応したいと思っています。

『早急に社協のバス車庫を』

災害用備蓄倉庫の利用を検討

問 高齢化の進む現状で社会福祉協議会の役割が大きくなっている。社協バスの車庫が前々から求められている。ゆうゆう館の利用やイベント等にも利用している。町長の考えを伺う。

答 町長 福祉バスの運行については、社会福祉協議会が事業主体として実施し、町で補助をしています。その利用状況は、老人クラブを始め学校や各種団体と幅広く利用されています。議員ご指摘のとおり、現在、福祉バスの車庫がない状況

にあり、冬期間は太郎布のあすなろ館に保管して

いました。しかし、以前から車庫の必要性が指摘されており、今年度、ゆうゆう館の隣接地に災害用備蓄倉庫の建築が予定されていますので、その利用も含め検討してい

ます。

問 先送りしないで、降雪前までには作っていたきたい。

答 町長 今年整備する災害用備蓄倉庫を福祉バスの車庫として利用できないのではないかと、考えています。



こぶし館に並べられた「6次化商品」



横田正敏議員の 一般質問

『6次産業化の推進』

徹底した取組みが出来なかった

問 町が奨励作物や施設を維持し発展させることができない原因は何か。

答 町長 品質の良い作物がつかれなかったことや、十分な販路を開拓できなかったことなどが原因として考えられます。根本的には奨励作物をつくり出すために徹底して取り組みでこなかったこと、町がこの作物を町の特産品にするんだという意欲に欠けていたこ

とが原因ではないかと思

います。観光施設については、整備する際には補助事業等で建設することができ

ますが、施設の維持・管理は、町単独費とな

るため、施設の入り込み状況や利用実績により修繕されなく撤去したケ

ースもあります。

『教育行政について』

教育長不在 申し訳ない

問 フリーズドライの利用状況の評価は。

答 町長 町内の農産物

等を利用した6次化商品の数は徐々

にふえてい

ると認識しておりますが、それに見合った商品はまだ少ないところ

です。フリーズドライに係る費用は、町内利用者にあ

つては実費を負担していただくことになってお

りますが、残念ながら町内の利用者は増えており

ません。

問 試作品の段階は無料

化するということは大事

とか電気代の助成の検討を。

答 町長 極端な話、電気代は無料にすることもあわせて考えていかなければならないと思いま

す。せっかくある良い機械がこれでは生きた使

方とは言えないと思いま

すので、庁内でよく検討していき

ます。

問 小さな商品でも商品

化するということは大事

が、子供たちに夢や希望を語るのか。

答 町長 教育長という

役職は、やはりしっかりと

とした考えを持って、そ

なこと。加工所がないと前に進まない。地域加工

所のような施設が必要ではないか。

答 町長 町内での農林

水産物の生産動向調査、

市場の需要動向調査、町

内での加工品調査、加工

施設をつくる場合の機

械、設備調査を専門家に

委託する計画です。その

報告書を検討しながら考

えていきます。

問 教育長不在が特に学校教育に及ぼす影響は大きいと考えるが、町長の所見は。

答 町長 新教育行政の要となる教育長が不在であることは、学校教育はもとより、生涯学習や社会体育活動を推進していく上で少なからぬ影響があることは承知してい

ま

ますが、町の教育を託せる人材の選定には慎重な検討が不可欠でありますので、今しばらく時間をいただきたいと思います。



「暑中お見舞い申し上げます」

暑い日が続きますが、農作業等は、朝夕、水分補給を十分に、熱中症にご注意ください。

議会でも「金山町観光施設運営整備研究特別委員会」を再三開き、保養センターの改築につき熱心に議論を行ってきました。ようやく決着が見られ、入札が行われます。

議員個々の意見はありますが、町民は一日も早い「保養センター」の再開を待ち望んでおられると思います。

町当局は、しっかりした指針を議員にも町民にも示し、納得される説明をされ、「降雪で工期が遅れた」など逃げ道、言い訳が無いよう望みます。

(長谷川菊夫)

国道252号整備・JR只見線全線復旧を提案 第30回両沼地方町村議会議員大会

7月24日会津坂下町において、県知事（会津地方振興局長代理）を始め小熊慎司衆議院議員、菅家一郎衆議院議員ほか多数の来賓出席の下、表記大会が開催されました。

大会では、金山町議会を代表して、長谷川菊夫議員が「命の道路である国道252号の整備促進」と「JR只見線の早期全線復旧」を提案し可決されました。今後は、両沼地方町村議会として、関係機関への要望活動が行われます。



金山町の最重要課題を提案する長谷川議員

ごあんない

次回の定例会は、9月11日ごろ開会の予定です。
一般質問は9月14日ごろとなります。

お気軽に傍聴においで下さい。

○役場1階の受付で「傍聴券」を受け取り
4階の議場においで下さい。

〔発行責任者〕 議長 五ノ井清二
〔編集委員〕 委員長 奥高伸
副委員長 青柳靖美
委員 横田正敏
馬場清次
黒川廣志
次回、金山議会日より
第191号は、11月上旬
ごろ発行の予定です。